

## 訓 示

時が過ぎるのは早いもので、昨年十一月に葦崎市長に就任し、またたく間に、新しい年度を迎える時期となりました。この間、職員の皆さんに支えられる中で、私の市政執行の基本姿勢であります「正義を貫き、公平公正で透明性の高い、開かれた行政執行」、また、「豊かな心と強い絆」の理念の下で、人のやさしさと安らぎを実感できる思いやりの市政の展開、「市民参画と協働による市政」の推進を図ってまいったところであります。只今、職員表彰を行いました。受賞者の方々は、三十五年並びに二十五年余に亘り、地方公務員として、その職責を果たされ、本市の発展に大きく寄与してこられた功績が、認められたものと思っております。本当におめでとうございます。長い年月の間には、地方自治体も時代の変遷とともに大きく変化してまいりましたが、市町村合併も一段落し、道州制の話も聞かれる中、ますます市町村の役割は重要となってきました。是非、これを機に、今までに培った皆様方の知恵や経験を存分に発揮していただくとともに、後輩の育成にもご尽力を頂きたいと思っております。さて、この季節は、多くの方々にとりまして節目となる月であります。特にお子さんや身内で入学・卒業・就職等、おめでたいことがあった方々に対しましては、心からお祝い申し上げる次第であります。本市におきましても、四月一日付で、新副市長並びに教育長をお迎えし、新年度がスタートいたしますが、ここで福田敏明 副市長をご紹介します。福田副市長は昭和二十三年、東京都でお生まれになり、現在は長野県富士見町に在住されております。中央大学法学部を卒業後流通業の株式会社ニチイ、現在のマイカルに入社し、マイカルグループの中で量販店事業、専門店事業、百貨店事業の営業企画、店舗開発、業態開発等の業務に携わり、営業部長、常務取締役等を歴任されました。特に平成四年には、マイカルグループとしては初めてのホテル事業の開発を手がけ、北杜市小淵沢町にホテル、「リゾナーレ小淵沢」を開発から開業まで、総合プロデュースし、取締役総支配人として就任、地域振興の一翼を担ったところであります。この間、「山梨県地域方策 策定委員会」委員となり、県内の地域活性化の提言を行いました。さらに、平成十三年には、リゾナーレの株式会社音楽の森代表取締役社長に就任するなど、その経営手腕はすばらしく、私の考えております地域開発、中心市街地開発など、これまでの経験を生かした新しいアイデアによる斬新な発想を大いに期待するものであります。これからは、この葦崎市においてその手腕を思う存分発揮していただき、分権の時代に叶う施策の展開にご助力いただきたいと思います。続きまして、興水 豊 教育長をご紹介します。興水教育長は、昭和十二年生まれで現在、藤井町南下条に在住されております。山梨大学 学芸学部を卒業後、小中学校教諭を務め、山梨県学校教育課主幹、葦崎西中学校校長を歴任され、平成九年度には、山梨県公立小中学校 校長会会長として、県内の教育の振興に寄与されました。教職を退職した後も、山梨県生涯学習センター所長、本市教育委員会教育相談員を務めるなど学校教育・社会教育全般に亘っての教育行政に精通されております。次代を担う青少年の健全育成や、生涯学習の推進にご尽力をいただきたいと思います。お二人につきましても、それぞれの分野でご活躍されている方々でありますので、市政進展にご尽力いただくことをお願いいたします。また、新規採用職員として、行政職四名、医師を含む医療職九名、合計十三名の職員を新たにお迎えいたしました。採用されました皆様方、誠におめでとうございます。今日から皆さんは、公務員として、第一歩を踏み出されたわけではありますが、市民あつての市役所であり、職員でもあります。常に市民のために、市民と一体となって本市を発展させていかなければなりません。どうか皆様方には、本市のあるべき未来像を胸に描き、失敗を恐れない勇気をもって、仕事に励んでいただきたいと思います。さて、本年度は組織機構の改革を行い、十九部課室を、十七課といたしたところであります。これは、行政改革の一環として、激しく変化する社会情勢に的確に対応し、新たな行政課題、複雑多様化する市民ニーズに即応できる行政サービスを行うために、簡素で、効率的で、市民サービスに直結する新たに取り組むべき課題にも対応できる組織に再編するために実施したものであります。新組織体制となり、戸惑いもあるかとは思いますが、より一層の市民サービスを図るために実施したものでありますので、市民は何を求め、何を望んでいるのかをすばやくキャッチし、今、行政は市民のために、何をすべきかを考えていただきたいと思います。新たな環境で出発する本日から、前例にとらわれることなく、業務に果敢に取り組んでいただ

きたいと思っております。そのためには、職員の皆さん一人ひとりが、意識を変えていただき、やる気を前面に出していただきたい。この意識改革なくして、厳しい自治体間競争には、生き残れないということを肝に銘じ、職務に精励してください。時代が変われば、その時代に合った進歩があり、新しい考え方があります。部下をどのように生かしていくかは、課長であり、課長補佐であり、また、リーダーの職務であります。私と一緒に、夢と希望を持てる市民が主役の魅力あるまちをつくっていきましょう。本年度の人事異動につきましては、本人の希望や意見等を反映させるよう十分配慮しながら、人的資源のフル活用を図るため、適材適所を基本に職員の英知と行動力を十分発揮できるよう、公平公正な人事を行ったところであります。市の組織の全ての部署が、市民のための業務を行う大切な部署であることを肝に銘じ、新しい環境の中で、新しい業務に、皆さんの持っている力を全て出していただき、常に前を向いて業務を遂行されることを期待しております。また、本年度から葦崎市役所 行動五訓を定めましたので、各施設や各課に掲げ朝礼時に斉唱して、皆さんの一日の行動の規範としてください。まず、公平・公正・公明のじゅんしゅ

遵 守 二つ目が、市民公益優先、現場第一主義の徹底三つ目が、ムリ・ムダ・ムラの排除四つ目が、コ・ワーキング 協働精神の発揮五つ目が、スピーディ実行の強化、以上の五訓であります。それでは、平成十九年度のスタートにあたり二点ほどお話をさせていただきます。まず、行政改革や地方分権、三位一体改革、少子・高齢社会など、地方行政を取り巻く環境の厳しさはここで、私から語らなくても、十分に認識しておられると思っておりますので、本日はそのことを踏まえた中で、取り組んでいただきたいことをお話ししたいと思います。まず、私が申しあげました、市民との約束を実現するための方針を申し上げます。元気で活力のあるまちをめざす「魅力・再構築プラン」・安心して快適に暮らせるまちをめざす「安心都市プラン」・安全で夢のあるまちをめざす「教育都市プラン」の三つの政策目標を重点に、本市の素晴らしい地域資源を最大限に活かし、子供たちが安全に生活できることで大きな「夢」を持つことができ、働く世代が「活力」に満ち、高齢者の方が「安心・快適」に過ごせる、「夢と希望の持てるまち にらさき」の地域づくりに取り組んでいくこととしております。この目標達成のために、今後、新たな総合計画を本年度から二ヶ年をかけて取りまとめ、政策目標の実現を図ってまいりたいと考えております。このためには、一つひとつの施策を、着実に積み重ねていかなければ本市の将来は見えてきません。そこで、職員の皆さんは、知恵を絞っていただき、一人ひとりのアイデアを活かしていくこと、これこそが、市民が安心して「私たちの生活を市に任せられる」という信頼に繋がるものであると思っております。今までこうしてきたから、今後もこうしなければならない、といった考え方は時には必要かもしれませんが、こうした考え方は本市を停滞させてしまいます。私はチャレンジ精神を持って失敗を恐れず新たなステップに突き進むことこそが、より重要であると日ごろより思っております。どんなアイデアでも、政策目標実現のためのご意見を私の耳でお聞きしたいと考えておりますので、職員の更なる創造性の発揮とご協力をお願いするところであります。次に、本年度の予算であります。この予算は、私が就任いたしまして、初めての年間予算であります。先ほど申し上げたところでもありますが、政策目標を実現するための地域づくりに取り組む予算として編成いたしました。しかしながら、財政状況が厳しいことには変わりありません。行政経費の節減に努めていただくこともお願いするところであります。私も、維持経費がかかる市長公用車を廃止するとともに、市長交際費も対前年比四十%減額し、経費の節減に努めているところであります。これから更に、厳しくなると予想される財政状況の中で、限られた財源を有効かつ効率的に執行することは市政の基本とするところであります。「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」これは、上杉鷹山の有名な言葉であります。皆さんご承知のとおり財政破綻の米沢藩を立て直したことは、周知の事実であります。このことは、古い慣例に固執する保守的な人達がいる中、挫折しながらも固い意思を持ち、まず自らが改革し周囲に広げていき、それが人々に反映されていくことで、藩を建て直し、産業を振興し、豊かな藩へと変革したものであります。是非職員の皆さんにも常に頭の片隅においていただき、事務執行をお願いするものです。最後になりますが、一年間の事務整理とスタートの準備が重なり、忙しい時期となります。健康には十分留意され、ご活躍されますよう、ご期待申し上げます。

て、年度始めにあたりましての訓示といたします。